

医療法人南労会 紀和病院季刊誌

ウェルビー



我が事として考えてみる



第 62 号 2025 年度 春

医療法人南労会 紀和病院

〒648-0085 和歌山県橋本市岸上 18-1 TEL.0736-33-5000
E-mail: info@nanroukai.or.jp URL: <http://www.nanroukai.or.jp>



さほ てるゆき
佐保 輝之

【歯科】大阪大学歯学部（平成元年卒）

【資格】大阪大学博士（歯学）、日本歯科医師会認定産業歯科医

昨年の10月から紀和クリニック歯科を担当しております佐保です。

世の中で起こっている様々なことを

「我が事として考えてみる」。

そうすることで出てくるものがあります。他の人の気持ちに寄り添うこと。それは苦しいこともあるでしょうが、問題を共に解決する糸口でもあるでしょう。

以上がよく言われている「我が事として考えてみる」ことの大切さですが、それ以外にも、他の人の楽しい体験に共感すること、つまり「我が事化」することで自分が体験したごとく心が豊かになることもあるでしょう。このように広義の意味で「我が事として考えてみる」ことも大切ではないかと考えています。

KIWA Doctor's Story No.11

さて皆さん、表紙の写真を見てどう感じられたでしょうか？ 背景に映る地上の風景、海岸線、水平線、そして青空と雲。決して高くない低山だからこそ味わえる風景がそこにあります。ここは15分ほどで登れる標高172mの低山です。想像の翼を広げて頂くために、あえて場所は明記していませんが、ご自分がそこに立っていることを想像してみてください（「我が事として考えてみてください」）。遮るものなく下界を見下ろせ、同時に海と空を見渡す爽快さを自身が体験していると想像してみてください。

気持ちをリフレッシュ！ このことは心の健康を通じて体の細胞が喜び、ひいては体の健康につながります。

私の趣味は、低山ハイキングです。のんびりと行く、街歩き、山歩き（と言っても低山です）が楽しみのひとつです。自宅が京都に近いこともあり、時間が許せば週末には、小倉百人一首の小倉山、五山送り火のひとつ大文字山、清水寺のある清水山などなど、歴史と文化を味わえる低山に足を向けています。

京都には都があったことで神社仏閣も多く、例えば南禅寺の裏山を歩いていると、偶然、1500年前の創建とされる京のお伊勢さん（日向大神宮）に辿り着いたり、道すがらにも新たな発見が多く、そんな日は帰宅してからでも発見したことを調べてみたくなり、ハイキング時と帰宅してから2倍、脳が喜んでいきます。

橋本市周辺の方にとって山は日常、目の前にある風景でしょう。しかし、見慣れた風景も下から山を見上げるのと、山の上から見渡す風景とはまた違うでしょう。

ただし、たとえ低山とは言え、足の不自由な方にとっては登るにハードルが高いでしょう。でも場所によっては頂上までのリフトやロープウェイ、エスカレーターがある所もあり、一気に乗り物で頂上に立てます。頂上から眺める景色は爽快で、気分転換、心の健康に有益だと思います。



小倉山から渡月橋を望む



(360度のパノラマ)
大室山登山リフトで一気に頂上まで



横手山スカイレーターで一気に頂上まで
(北アルプスを望む)



大文字山火床から
京都の街並みを望む

春、穏やかな良い季節になりました。お天気の良い日には、春風を感じながら皆さんも、

麓にお住まいの方は、徒歩が大変でも、もしお車その他の手段で、そしてサポートして下さる方にも余裕があれば、時間を見つけ、手軽に登れて周囲を見渡せる場所に出掛けて心のリセット、リフレッシュをしてみたいかがででしょうか。

また、寝たきりの方などは、テレビやビデオの美しい風景を観るだけでも心の栄養になり、体に良い効果をもたらすことは十分に考えられます。ご自分がそこに立っていると想像してみてください。爽快な風景に身を置いてみてください。体の良い細胞がきっと元気になるでしょう。

気持ちをリフレッシュすること。心の健康は体の健康、病気の治癒に大きく関わっています。

ところで歯科治療、予防歯科の重要性については、紀和クリニックのホームページにも記載しておりますが、お口の中の健康も全身の健康と大きく関わっています。

また定期的にお口の中のお掃除をすることで気分爽快、心の健康にもつながります。

歯科治療においても患者さんの置かれている様々な状況について「我が事として考えてみる」ことにより、その方にとって適切な治療法が選択できるでしょう。Aさんにとって最適な治療法がBさんにとって最適とは限りません。その方にとって最適な治療法を患者さんと一緒に考えていきたいと思っています。

消化器内科と消化器外科と腫瘍内科が垣根を超えて診療

消化器病センター

超音波内視鏡など専門的な検査



年間 3,500 件以上の内視鏡検査実績 (※1)



傷の小さな手術

食べ物の通り道の消化管、口から肛門まで（食道・胃・腸）と、
実質臓器の肝臓・胆のう・膵臓の病気を診察・治療

このような症状の方は、お早めにご相談ください。

- ・胃痛、胸やけ、なんとなく胃がもたれる
- ・お腹の張り、腹痛がある
- ・便秘、下痢、便に血が混じる
- ・お腹の調子が悪い
- ・喉のつかえを感じる



内視鏡技術を駆使した診療を提供

内視鏡的超音波検査（EUS）
胆膵領域に特化した EUS ガイド下処置
内視鏡的逆行性胆管膵管造影（ERCP）
内視鏡的胆道ステント留置術 など

内視鏡検査による検査・治療

（※1）2024 年 4 月～2025 年 2 月

3,692 件実施（うち住民健診、企業健診、人間ドック 2,303 件）

診療のご案内

診療時間	月	火	水	木	金
午前	居平	出島	上中	居平	出島

受付時間 午前：8:00～11:30 お問合せ 紀和クリニック

診察時間 午前：9:00～  0736 (34) 1255

紀和クリニックで外来、紀和病院で検査や手術をおこないます

たんこうしきふくくうきょうかしゅじゅつ

単孔式腹腔鏡下手術

おへそのくぼみ 1 カ所だけを小さく切開して行う手術

- ① 胆石手術
- ② 虫垂炎手術
- ③ 鼠経ヘルニア手術 など

胃がん・大腸がん手術

開腹手術に比べて

- ✓ 傷が小さい
- ✓ 早期退院
- ✓ 術後の痛みが軽い
- ✓ 早期社会復帰が可能

全身化学療法

（抗がん剤を用いた治療）

腫瘍内科医を中心に積極的に行っています



紀和病院 院長
消化器病センター長
消化器外科 池田直也 医師

紀和病院 副院長
消化器病センター副センター長
消化器内科 居平典久 医師



『患者さんが家に戻って困らないように！いい生活ができるように！』
という点にフォーカス！

トリプルC：コラボレイティブ・ケース・カンファレンス Collaborative Case Conference



入院治療を終えた患者さんが安心して在宅医療へ移行できるよう、在宅医と連携して退院時カンファレンス（話し合い）を積極的に実施しています。

これは入院中の主治医・看護師・リハビリスタッフなどの入院チームと、退院後在宅での生活を支える在宅医・訪問看護師・ケアマネジャーなどが退院前に病棟などで顔をあわせて、患者さんの病状やこれからの生活環境を踏まえた支援方針を検討・共有する場『トリプルC』（コラボ Collaborative で、患者さんそれぞれのケース Case をカンファレンス Conference する。3つの「C」）です。

直接参加ができない場合でも、zoom などの Web 会議で在宅診療の先生たちの参加も可能となりました。これにより、より多くの医療者が患者さんの情報を共有し、密な連携をとることができます。

患者さんやご家族の「在宅で過ごしたい」という想いに寄り添い、安心して生活が送れるよう、当院は引き続き多職種連携を強化し、在宅療養支援に尽力して参ります。

どんなことを話し合ってるの？

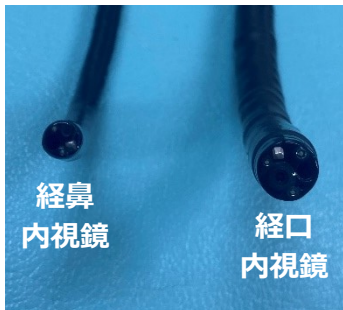
例えば！

- ・ポータブルトイレとベッドの配置を検討して、退院後の転倒防止
- ・入院中の食事の体位や食事形態を伝えて誤嚥予防 など



紀和病院では、胃カメラ（上部内視鏡）検査時のリスクや副作用を極力避けるために

細い経鼻内視鏡で 鎮静ナシの経口内視鏡を始めます！



内視鏡の 大きさの比較		実寸 サイズ
経鼻 内視鏡	5.4mm	
経口 内視鏡	9.9mm	

口からの胃カメラが、鼻と同じ細く柔らかいスコープになります

細いから苦痛が少ない！

精度は今まで通り



- ▶ 鎮静剤ナシだとメリットもたくさん♪
- ・副作用の心配がない！
 - ・検査後すぐに仕事や運転が出来る！
 - ・ふらつきや注意力低下といった影響もナシ！

《経鼻内視鏡検査のメリット》

・痛みが少ない

鼻腔から胃までの経路が自然な曲線を描いているため、カメラが体内の壁に強く当たることが少ないため

・吐き気が起こりにくい

口腔内にカメラが入ることで 咽頭反射という「オエッ」となる現象が起こりやすいが、細いカメラではこの咽頭反射が起こりにくい



ごくまれに脈が遅くなり血圧が下がったり、アレルギーなどの副作用がある。



呼吸を抑制する作用があるため、心臓疾患や肺疾患のある方、ご高齢の方には特に注意が必要。



眠気や判断力の低下が見られることがあり、車やバイク、自転車を運転して帰宅ができない。



麻酔が効くまでと、検査後も鎮静作用がしばらく続くため、1 時間ほど病院内で休む必要がある。

知っていますか？ 鎮静剤（麻酔）を使用した際のリスク

新入職員紹介

31名の新入職員が入職しました！
新入職研修を受講し、職員としての心構えや基礎知識を学び、患者さん・利用者さんから信頼される職員となるよう真剣に取り組んでいます。



新任医師のご紹介

脳神経外科	金井 真	(かない まこと)
循環器内科	奥野 圭佑	(おくの けいすけ)
消化器外科	松本 恭平	(まつもと きょうへい)
乳腺外科	木下 春人	(きのした はるひと)
腫瘍内科	金村 宙昌	(かねむら ひろあき)

退職

脊椎内視鏡外科	河合 将紀
消化器外科	佐藤 公俊
心臓血管外科	関根 裕司
形成外科	上野 一樹
腫瘍内科	岡部 崇記

2024 年度 KIWA IV ナース研修

静脈注射についての専門的な知識や技術を深める「KIWA IV ナース研修」が2024年度開催され、11名のIVナースが誕生しました。抗がん剤などのお薬をより安全に提供できるよう、これからもスタッフのスキルアップに努めてまいります。



看護学生や求職者の方、地域の皆さんに、当院看護部のことをより深く知っていただけるような内容になっております。仕事の内容を中心に、病棟の特徴、先輩のメッセージなどを掲載しています。ぜひ一度ご覧ください！



紀和病院 医療チーム紹介 No.7

緩和ケアチーム

緩和ケアチームは、がんなどの生命を脅かす病気をもつ患者さんとその家族さんを対象に、様々なつらさを緩和し、お困り事などの解決を通して、みなさんの希望する過ごし方ができるようにサポートするチームです。主治医あるいは看護師にご相談いただければ、緩和ケアチームが診療に加わります。当チームには緩和医療学会認定医とがん看護専門看護師が在籍し、専門的医療・ケアを提供しております。「この街に緩和ケアチームがあってよかった」と思っているように、チーム一丸で頑張っています。

